

審議事項

①新市将来構想

ダイジェスト版について

新市将来構想について、2市2町の全世帯へ配付(平成15年7月の予定)するとともに、住民説明会での資料とするため、ダイジェスト版を作成することについて、審議を行いました。

■A4サイズ・フルカラー・8ページとする。

■分かりやすさを最優先し、将来構想のあらましを紹介する。

委員

合併の必要性和その影響のところで、約136億円の経費削減効果について記述すると書かれているが、この数字はあくまでも推計予測であり、今後の財政計画の資料にするものであるというような説明を付けるなどして、住民に誤解を与えないようにしていただくよう要望する。
協議の結果、確認され、ダイジェスト版の作成することが決まりました。7月に全戸に配付する予定です。

②新市建設計画(素案)について

新市建設計画(素案)の内、

序章 (はじめに)

一 合併の背景と必要性

- (1) 少子高齢化への対応
- (2) 地方分権の進展への対応

- (3) 拡大する生活圏への対応
- (4) 新たな都市づくりへの対応
- (5) 行財政の効率化・高度化への対応

二 計画策定の方針

- (1) 計画の趣旨
- (2) 計画の構成
- (3) 計画の期間

三 新市の概況

- (1) 位置と地勢・気候・面積・人口・産業・主要指標の見直し(総人口・年齢別人口)

委員

目標人口を12万人にしているが、これは推計値と比較すると10%アップということになる。目標を実現するためには、人口が流入する、あるいは出生率がアップする必要があると思う。新市の施策では、近隣の地域に比べてメリットのあるような施策や近隣での都市間競争に勝ち抜けるような施策・方向性を謳って欲しい。

四 新市建設の基本方針

(1) 将来都市像

以上のような将来都市像の実

平成15年4月末現在

団体名	人	口(人)
西条市	59,430	
東予市	33,486	
丹原町	13,896	
小松町	10,097	
合計	116,907	

人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市

都市像のイメージ

- ・石鎚山と瀬戸内海からの、豊かな「水」と「緑」の恵みを受けて、
- ・人々が心豊かに、快適で質の高い暮らしを送ることができ、
- ・全国・世界にも通用する、元気で優れた人材が育ち、
- ・地域経済が多様で活気あふれるとともに、時代に柔軟に対応し、
- ・恵まれた交通条件を活かした拠点として、
- ・まちの魅力を地域から各方面に広く発信している

地域の課題だけにとらわれないことなく、幅広い地球環境への対応を本格的に展開し、

- ③ 安心で快適に暮らせる生活基盤の整備

日常生活利便性を向上させるとともに、災害に対しても安心して暮らせるような取り組みを進め、質の高い生活を実現することにより、「住んで良かった、住んでみたい」と思える快適な地域をつくります。

- ④ 豊かな心を育てる教育・文化の創造

互いを思い合うゆとりを持ち、自ら考える能力を持つ、心豊かな人間形成を図るため、地域の中で創造的に学び、楽しく過ごせるまちづくりを目指します。

- ⑤ 活力ある産業の育成

産業集積を充実させ、恵まれた地域資源の活用や新技術の活用により新しい経済の基盤を築き、定住人口や交流人口の拡大を通じて、にぎわいと活気のある地域を創造します。

- ⑥ まちづくりを進めるために

行政と住民との間の信頼関係を確立し、適切な役割分担

と連携のもとに「協働」のまちづくりを進め、時代のニーズにあった円滑な行財政運営を実践します。

これらにより、今後のまちづくりの基本となる、自立した地域運営のしくみを構築します。以上について、素案が提案されました。

委員

施策の方向性に①から⑥までであるが、これを見ると全国どこにでもあてはまるような表現になっている。例えば「石鎚山系」とか「西条臨海東ひうち工業団地」「東予インダストリアルパーク」など、地域性が出る表現にしたほうが住民にわかりやすいのではないかと。

事務局

次回に提案させていた、たくさん加えた表現にし、オリジナルティを出したいと考えている。

委員

平成11年の4月に打ち切り通省がまちづくりの事例を全国で募集し、本に30余り載っている。四国では高知県の四万十川流域について載っているが、愛媛県はひとつも出ていない。こういうものも参考にして、この地域でも石鎚山系の自然を生かしたものが考えられないか検討してもらいたい。

一部修正の必要が生じたため、修正部分については次回の小委員会にて審議することになりました。